

4. 南関東（地域別調査機関：株式会社日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、*：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連 (南関東)		一般小売店〔生花〕（店員）	・2～3か月先の3月は卒業式、お彼岸、退職シーズンになるので、需要が多く忙しい時期になりそうである（東京都）。
		コンビニ（経営者）	・競合店の撤退により、良くなる（東京都）。
		都市型ホテル（スタッフ）	・春が近づくことで観光需要が高まるので、状況は良くなっていく。
		通信会社（管理担当）	・働き方改革、改元、消費税増税を契機としたシステムの再構築などの影響の他、ネットワークサーバーやPCでメーカーサポート終了の製品が続いて生じることもあり、引き続き景気は良いと判断している（東京都）。
		一般小売店〔家電〕（経理担当）	・消費税増税を考えた消費があるようで、リフォームなど金額の大きな案件の相談が増えている。
		一般小売店〔文房具〕（経営者）	・新入学時期の4月が近づくにつれ、今以上に学童用品を中心に動きが良くなる。また、文具メーカーの新商品も多く発売され、販売サイクルも早まってきており、消費者の購買意欲をかき立て、売上の増加が見込まれる（東京都）。
		百貨店（営業担当）	・消費税増税前の駆け込み需要が、ある程度期待される（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・改元前後に当たり、平成最後、新元号最初の記念としてのモノコト消費が活性化すると予想している（東京都）。
		百貨店（販売促進担当）	・新年度以降は、消費税増税前の買換え需要や、改元に伴うモチベーションにより、改善が見込まれる（東京都）。
		百貨店（店長）	・今後のリニューアルで、魅力のある商材が増えることで、3月末からは来客数や売上が伸びると予想される（東京都）。
		スーパー（ネット宅配担当）	・各分野で値上げがあり、結果的には売上増の要因になる。
		コンビニ（経営者）	・3か月後は気温が上昇し、新学期ということもあるので、来客数も多少増える。
		コンビニ（経営者）	・期待を込めてだが、季節的に暖かくなってくるので、幾らか良くなる。
		コンビニ（エリア担当）	・5月に改元と10連休を控え、来客数増が期待できる（東京都）。
		衣料品専門店（統括）	・新入学、新社会人、新生活に向けた客の需要が今後高まってくる。
		家電量販店（経営企画担当）	・季節も冬から春へと移行し、新生活マーケットの需要をどこまでつかめるか。インバウンドも中国、台湾の力強さが戻ってきたらと期待している（東京都）。
		乗用車販売店（販売担当）	・2020年の東京オリンピックに向けて、緩やかに景気の良さが継続していく。建設関連は人手不足の中で、賃金ベースを相当上げて募集をしている。やはり人手を増やすために、様々な条件を加えている（東京都）。
		乗用車販売店（店長）	・各税金関連で変化があるので、ユーザーの購買意欲が上昇している。
		乗用車販売店（総務担当）	・年度の決算月であり、各社共に需要が大きいので、販売量が見込める。
		乗用車販売店（店長）	・エコカー減税が適用される3月までは良いと思うが、その反動がどうなるか、また、消費税増税の影響がどこまであるのか予測が付きにくい。
	乗用車販売店（渉外担当）	・消費税増税前の駆け込み需要がある程度顕在化する。	
	その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・季節的に暖かくなってきたら、客の回遊性が出てくるような気がする。	
	高級レストラン（仕入担当）	・旗艦店である本店のリニューアルオープン効果が出つつあり、先々の予約状況を見ても期待が持てる（東京都）。	
	一般レストラン（経営者）	・3～4月は、人の動きが活発になってくるので、今よりも2～3割は売上が伸びる。例年3月は人の出入りが激しいので、12月に次いで売上が良い月である。	
	一般レストラン（経営者）	・4月には入学式、歓送迎会等がある。気候も暖かくなるので、景気とは結び付かないが、多少は良くなる。	
	一般レストラン（経営者）	・東京オリンピックまでは継続して良くなる（東京都）。	

その他飲食 [居酒屋] (経営者)	・ 例年正月明けは来客数が減る傾向にあるが、客単価は上がっているため、今後、売上が伸びると予想している (東京都)。
その他飲食 [給食・レストラン] (役員)	・ 3月末の契約更新時期を迎え、早期に給食業者の入替えを行う取引先も多く、大きな伸びは期待できない。4月は新規取引先の立ち上がり相次ぐため、売上が伸びると予想される。特に、4月開始の新規先が順調に取れている状況に裏打ちされており、期待ができる (東京都)。
都市型ホテル (経営者)	・ 2月は日数も少なく、寒さの影響もあり低調である。3～4月は年度末、年度始めて、歓送迎会や大型施設のイベントも大分入ってくるため、上向きになる予定である。
旅行代理店 (従業員)	・ 今回のゴールデンウィークの状況から、夏休み、年末年始の予約も早期に動く予想される (東京都)。
旅行代理店 (販売促進担当)	・ 東京オリンピックの種目別の価格表が発表された。当社も販売を担当している旅行会社の1つであり、4月以降になるが、チケットを含んだ商品の販売も始まるので、良い影響がある (東京都)。
旅行代理店 (営業担当)	・ 前受けの旅行が前年と比較して好調である。
タクシー運転手	・ このところの株安に伴う逆資産効果のほか、天候要因も下押し圧力となっているものの、雇用、所得環境の改善が続くことから、個人消費の緩やかな回復基調は変わらない。生鮮食品価格の落ち着きや、原油価格の下落に伴うエネルギー価格の低下などが見込まれるため、個人消費は所得増に見合った伸びに回復する (東京都)。
通信会社 (経営者)	・ スポーツやライブ中継等、生放送でのテレビ視聴はまだ需要があり、高度BS4K放送の認知度の高まりとラグビーワールドカップや東京オリンピック、パラリンピックに向けてコンテンツの充実が進むことが予想される。録画機能付視聴端末も今後普及することにより、客からのリアクション増加が予想される (東京都)。
通信会社 (管理担当)	・ 携帯電話の新機種と異なり、日本人は美しい映像を好むことがよく分かる。月額利用料は気にするが、預貯金からの払出し1回で済む高額なテレビ購入は、余りちゅうちょしていない。
その他サービス [福祉輸送] (経営者)	・ 4月の天皇陛下の御退位、皇太子殿下の御即位、5月1日の改元、10月1日の消費税増税前の駆け込み需要ということで、消費に対するマインドは少し盛り上がり期待している (東京都)。
その他サービス [立体駐車場] (経営者)	・ 近隣のマンションができ上がり、住民も増えて、少しずつ良くなる。
設計事務所 (経営者)	・ これから2～3か月は収入がありそうである。
設計事務所 (所長)	・ 消費税増税問題や地方選挙等があり、それに基づき具現化してくる計画物件が、表面化してきている (東京都)。
住宅販売会社 (従業員)	・ 消費税増税の絡みで、3月まではまだ良くなる。
商店街 (代表者)	・ 消費税が10月から上がると思うが、客は今、消費税が上がるから早めを買うという意識が全くなく、買物を自粛していると思えてならない。消費税が上がると更に消費に対して控えめになってしまうのではないかと、心配である。
商店街 (代表者)	・ 統一地方選挙と世界情勢が気になる。消費税増税がいよいよ近づいてきているが、春に選挙があり、米国、欧州の政治などに不安要素をたくさん抱えている状況では、マインドが上向くとか株価がプラスに動くイメージは余りない。動きが出る時期ではあるので、良い方向に転がれば、もしかすると好転の可能性もある (東京都)。
一般小売店 [家電] (経理担当)	・ 客に高齢者が多いので、少しの間使えればいいという客が多く、工事が発生する商品以外では、大きな売上につながらない。
一般小売店 [家具] (経営者)	・ このところずっと景気は良くないが、これから先も今の状態が続く (東京都)。
一般小売店 [祭用品] (経営者)	・ 当駅近隣に新しい商店もないわけではないが、閉店や撤退が多数あり、ゴーストタウンになってしまうのではと危惧している。
一般小売店 [家電] (経営者)	・ 米中の貿易摩擦が懸念されている上に、今後期待されるような情報が余りないので、難しい (東京都)。

一般小売店〔米穀〕（経営者）	・時代減少と気温が上がって少し人が動いて、悪いところと良いところとがあり、プラスマイナスゼロである（東京都）。
一般小売店〔傘〕（店長）	・とりわけて景気が良くなる材料はなく、必要があれば購入するスタイルは変わらない。
一般小売店〔文具〕（販売企画担当）	・年度末にかけて、外商ではある程度物件は決まっているが、それほど急激に伸びるほど多くはない。景気は良くも悪くもなく横ばいという感じである。
一般小売店〔茶〕（営業担当）	・ここ数年はボーナスなど出ない状況で、従業員も諦めている。何とか販売量を確保して、せめて現状を保ちたいと全員頑張っているが、世の中の多様化や、必要な物以外を買わない節約モードの中では、販売数を伸ばしていくのは簡単ではない（東京都）。
百貨店（売場主任）	・2月もバレンタインや物産展等、動員の掛かる催事の連打と、前年比で訴求部数増が見込めるため、天候が大きく崩れなければ、来客数増で推移するとみている。
百貨店（売場主任）	・全体的にインバウンドがやや厳しくなっており、食料品においても若干苦戦をしているものの、他の品番に比べるとまだ健闘しており、前年を若干超えるか超えないかくらいである。今後については予断を許さないが、消費税が上がるまでは購買は一旦増えていくとみている。当地域は東京オリンピックも控えているので、楽観視はできないが、少しずつは良くなっていくのではないかと（東京都）。
百貨店（広報担当）	・インバウンド売上のマイナストレンドが継続する。また、米中貿易摩擦が早期に収束を見ない限りは、円高傾向が強まって国内企業の経済活動が足踏みし、株価も乱高下するなど不安定になる。結果として、消費マインドも横ばいのまま推移すると予想している（東京都）。
百貨店（営業担当）	・景気の先行きが不透明感を増すなか、高額品の動きが厳しいと予想している。秋に消費税増税を控え、購買意欲の高まりに期待するものの、大きな伸びは期待できない。増税対策もマスコミにより大きく報道されているが、今回は従来のような消費過熱は抑えられるのではないかと。経済状況が安定し、先行きが見えてくると一気に過熱することもあるので、予測は難しい（東京都）。
百貨店（営業担当）	・今まで業績をリードしている富裕層とインバウンドの伸び率が鈍化している（東京都）。
百貨店（店長）	・改元の頃までは、今のムードを変える明るい材料が見出せない。
百貨店（副店長）	・前年の後半以降、全国的にみるとインバウンドの下振れや株価の動向など、将来に対する不透明な状況が続き、景気の上昇気配は現時点では感じられない。4月以降の慶事に合わせて、消費者意識の変化に伴う景気の上昇に期待したい。
百貨店（計画管理担当）	・前年は降雪により売上にマイナスの影響が出たが、今年は降雪がまだないにもかかわらず前年の確保に苦戦していることに鑑みると、引き続き楽観視できる状況ではない（東京都）。
スーパー（販売担当）	・競合との価格競争があり、商品単価が下がる傾向にある。客の買上点数は前年を上回っているが、客1人当たりの買上額がトータルするとなかなか前年を上回らない状況が続いている（東京都）。
スーパー（経営者）	・今のやや悪い状態がこのまま続くと思うが、今年は改元があるため、ある程度お祝いムードが出て、消費が喚起されると期待を込めている。ラグビーワールドカップ等も取り入れて何とか売上アップにつなげたい。
スーパー（経営者）	・今月が悪いので、そのまま行きそうである。販売量、単価共に上昇する兆しが無い。
スーパー（店長）	・店では様々な努力を重ねながら安売り等をしているが、客の反応がない。3か月後の景気は今と変わらずに推移していく。
スーパー（店長）	・景気回復のための政策もなく、消費者には節約志向が依然として根付いており、今しばらくはこの状態が続いていく（東京都）。

スーパー（総務担当）	・世の中では景気回復の流れとなっているが、実際に可処分所得として客が自由に使える分は、なかなかないように感じられる。インバウンドも下向きになっているので、特に大きなイベント、与件等がない限りは、大きな売上、又は良くなる状況は想定できない。
スーパー（総務担当）	・販売点数、客単価等には大きな変化はないが、競合他社の出店により来客数減が見込まれる。特に、ドラッグストア出店は大きな影響がある（東京都）。
スーパー（販売促進担当）	・2月は入園、入学準備、節分、恵方巻、バレンタインなど、イベントの多い月である。仕掛けの拡大による集客アップを狙うが、課題は例年との変化である。
コンビニ（経営者）	・天候次第で来客数が大きく変動するので、今後の状況が読み切れない。
コンビニ（経営者）	・今後の政策などに期待できるような情報がない。
衣料品専門店（経営者）	・新入学児童向け販売の季節である。小学校は変わらないが、中学校の受注は前年よりも良い。競争はあるものの、首都圏にあり児童数は変わらないのでありがたい。
衣料品専門店（店長）	・長期的には、少子化による社会保険料の負担増、消費税増税等で景気は低迷する。景気回復には、IT、IoT、AI促進等による生産性の向上が不可欠である。短期的には、改元、東京オリンピック等の購買心理の向上要素があり、消費税増税に対しても景気は横ばいで推移するのではないかと（東京都）。
衣料品専門店（営業担当）	・景気が良くなる要因が1つもない。消費税増税でまた3～4か月間売上に響く状況が起こりうる。赤字の営業が続いているので、やめなければいけないと56年間の商売を考えさせられる時代である。
衣料品専門店（役員）	・衣料品の購入は必要な物、実用品だけという風潮である。
家電量販店（店長）	・世界経済のリスク要因が消費者マインドに不安を抱かせている。インバウンドは中国の関税検査強化による高額品の需要がますます低下する（東京都）。
家電量販店（店長）	・今後は移動マーケットの入進学、新社会人、転勤などの需要が期待できるが、少子化の影響やコスト削減のあおりで転勤が減少することなどで、前年実績をクリアできるか若干の不安がある。
乗用車販売店（経営者）	・自動車の整備と販売をしている。整備は順調に入っているが、販売は余り芳しくない。来客数は結構あるが、なかなか契約に結び付いていない。
乗用車販売店（経営者）	・3月決算の売出しまでは現在の好調が続く。
住関連専門店（営業担当）	・リフォーム業においては消費税増税に伴う駆け込み需要、次世代住宅ポイントなどの政府施策による需要喚起の要因があり、今後も堅調に推移するものとみている（東京都）。
その他専門店〔ドラッグストア〕（経営者）	・皇太子殿下御即位などの行事が多いため、景気が少し持ち直すと思われ、準備している。
その他専門店〔貴金属〕（統括）	・外部要因の期待もあるが、急激な変化は考えにくい（東京都）。
その他小売〔ゲーム〕（開発戦略担当）	・新ハード景気が一段落したため、下降傾向が続くと予想している（東京都）。
高級レストラン（経営者）	・良くなる要素が見当たらない。
高級レストラン（営業担当）	・法人関連の宴席予約の推移をみると、例年の利用客を中心に、ほぼ前年同様の状況である（東京都）。
高級レストラン（役員）	・2～3月の予約状況は前年比でほぼ横ばいである（東京都）。
一般レストラン（経営者）	・消費税増税に対する情報の細かな発信や、新元号発布以降の景気対策など、小さな不安が大きな景気後退を生みかねない。そのいろいろな開示が今のところない（東京都）。
一般レストラン（経営者）	・4月に行われる統一地方選挙の影響で、接待や飲食が極めて絞られると予想している。その反面、元号が変わるので、人々の心の中にも少しお金を使いたくなるような動きがあるのではないかと。そうしたことから、しばらくは横ばいが続く（東京都）。
一般レストラン（スタッフ）	・良くなる理由がない。

都市型ホテル（スタッフ）	・年明けから少しずつ景気が回復している感はあるが、統一地方選挙や皇室行事などの影響により、利用頻度の減少が懸念される。また、消費税再増税やあらゆるコストの増加による値上げが相次ぎ、先行き不安から買い控えが起こり、景気回復の動きを鈍くする。
旅行代理店（経営者）	・2～3か月先は、客からの問合せも半減しているため、現状と余り変わらない。
旅行代理店（従業員）	・次年度に向けての営業活動となるが、現状は景気の波を感じる状況にない。
旅行代理店（総務担当）	・旅行参加人員は3か月前とほぼ同数になっている（東京都）。
タクシー運転手	・正月も終わりこれから新年度に入るが、春には改元があることと、10月から消費税再増税があり、客は足踏み状態で、慎重な動きが見られる。
タクシー運転手	・ここ2～3年、周囲の交通機関で、小型バスの新規参入によりタクシーの利用が少なくなっている地域がある。住宅地内にバス停を設けてバスが巡回するため、利用者の多くがバスへと流れている。
タクシー運転手	・客の様子だが、良くなっているという人は非常に少ない。特に、働き方改革で、大企業のサラリーマンは労働時間は減っているが仕事量は変わらない、という難しい状態になっているようである。タクシーは季節的に良くない。3月くらいから多少良くなることを期待している（東京都）。
通信会社（経営者）	・足元の販売量など低迷が続いているが、改元への期待感も出てくる（東京都）。
通信会社（営業担当）	・景気の見通しが不透明になってきており、消費はより慎重になる。
通信会社（営業担当）	・若年層の固定回線、テレビ離れは加速しており、厳しい状況は続く。
通信会社（局長）	・4Kテレビの売行きは徐々に上向いているものの、それに連動する4K対応コンテンツがまだ不十分なこともあり、当社のサービスに結び付く要素が少ない（東京都）。
通信会社（営業担当）	・良くなると思える材料がない。
通信会社（総務担当）	・消費税再増税次第で経済、景気の悪化が懸念されるが、現状ではまだ大きな変動にはつながらない（東京都）。
通信会社（経営企画担当）	・現状のまま横ばいである（東京都）。
通信会社（営業担当）	・客の動きを見てみると、社会的に大きな出来事がない限り、当面景気は変わらない（東京都）。
通信会社（経理担当）	・個人消費が活発になる材料が特に思い浮かばない。4月に行われる携帯電話料金の値下げがどの程度になるのか、状況を注視していく。
ゴルフ場（従業員）	・現在のところ春先の予約状況は堅調であり、入会希望者も想定水準を保っているが、当社の客単価はレジャー産業としては高価であり、消費税再増税が視野に入った消費マインドの低下がどの辺りから現れるか警戒している。
パチンコ店（経営者）	・この先良い機械が出るのはゴールデンウィーク頃になってしまうため、2～3か月先は厳しい状況で変わらない。スロットの規制はそのままだが、パチンコの良い機械が出ないので、どうしても機械の有無によるプラスマイナスがある（東京都）。
美容室（経営者）	・早く暖かくなってもらいたい。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・人件費は月ごとに少しずつ上がっているが、生徒数は横ばいで変わらない。まだ景気が良くなるとは思えない。
その他サービス〔学習塾〕（経営者）	・特に変化は感じられない。
設計事務所（経営者）	・今年は改元があり、消費税再増税など大きな節目となるが、現在の景気状況は変わらない。政府は景気対策にいろいろ手を尽くしているようだが、小手先だけで抜本的な変化は期待できない。
設計事務所（職員）	・変化する要素が見当たらない（東京都）。
住宅販売会社（従業員）	・前年末に決まった与党税制改正大綱により、消費税再増税後の住宅ローン減税及び、すまい給付金の拡充が伝えられている。駆け込みの必要はないというニュースにより、客も様子見をしており、景気はやや悪いままで変わらない。

住宅販売会社（従業員）	・金融機関が収益向け融資を絞らない限り、大きな変化はない。資産形成のみならず、相続対策で購入する客も多いので、現状のまま推移していく。
住宅販売会社（従業員）	・消費税増税を見据えた駆け込み需要ははまだ発生しておらず、住宅取得を支援する政策の決定が待たれる。
その他住宅〔住宅資材〕（営業）	・本来の繁忙期ほどの仕事量はなく、先行きが不透明である（東京都）。
商店街（代表者）	・修理期間が終われば、平常に戻る。
一般小売店〔和菓子〕（経営者）	・原材料や包装資材、運送費用の値上がりなどで商品価格を上げなければならないので、売上が少し落ちてしまうのではないかと感じる。
一般小売店〔印章〕（経営者）	・今後、キャッシュレス決済等で買物ができる状況が進んでいくと、印鑑を使ってのお金の出し入れがなくなってくる。ますます印章業は、不必要な業種になってしまうのではないかと懸念している。
百貨店（売場主任）	・食品の値上げ等が生活防衛に大きく関与してくる。
百貨店（総務担当）	・来月に近隣商業施設が大幅リニューアルオープンするにあたり、当店が受けるダメージを考慮すると、やや悪くなる。
百貨店（営業担当）	・現状の株価低迷による中間富裕層の消費マインドの冷え込みと、米中貿易摩擦、中国の規制強化によるインバウンドの買上苦戦等の要因が解消される兆しが不透明ななかでは、短期間での消費回復は期待薄である（東京都）。
百貨店（販売促進担当）	・クリアランス期間中であっても客の購買動向は慎重かつ消極的である。この傾向は今後も継続していく（東京都）。
百貨店（販売促進担当）	・年が明けてから、客の消費に対する意識が消極的になってきていると感じる。富裕層も年末からの株価下落の影響が、金、地金の売上が伸張しており、消費よりも資産の確保に意識が向いているように感じる。
百貨店（販売促進担当）	・米国、中国を中心に世界情勢の不安がインバウンドの売上に大きく影響する（東京都）。
百貨店（営業企画担当）	・訪日外国人消費が回復しなければ確実に悪化する。消費税増税の影響も不透明なため、マイナスイメージを拭えない（東京都）。
スーパー（営業担当）	・貿易摩擦、消費税増税共に将来に向けての不安感がなかなか払拭できず、景気に悪影響を及ぼしている（東京都）。
スーパー（仕入担当）	・ゴールデンウィークに備えて貯蓄をしていく家庭が多くなり、消費自体が落ち込む。
コンビニ（経営者）	・少しずつ低下しているように感じる（東京都）。
コンビニ（経営者）	・コンビニを幾つか営んでいるが、毎年、毎月少しずつ来客数が落ちている。今月は天候が良いにもかかわらず、前年より落ちている。店舗数が増えているということもあるが、消費税が上がるということで、客が財布のひもを少しずつ絞っているのかなと感じている。
衣料品専門店（経営者）	・好景気のニュースを聞いても実感は全くない。手取り収入の減少により、家計のやりくり、消費税増税前の引締めが現実化してきている。
衣料品専門店（経営者）	・当店のスクール用品部門はやはり少子化の影響で数が伸びない。政府はキャッシュレスというが、カードの場合、手数料が普通の小売店だと4～5%、大手だと1%ということでその差が気になり、どうしても厳しい状況にある。大手と一般小売店になるべく差がないような政策をとってほしい。
衣料品専門店（店長）	・単価が大きく下落してきているため、更に悪くなる。
乗用車販売店（営業担当）	・4月の税制改革により、買い控えが予想される。
住関連専門店（統括）	・消費税10%が現実味を帯びて、身近に感じている。今も買い控えはあるが、これ以上にもっと買い控えが増える。景気はまだまだ良くなり、もう少し悪くなる。
その他小売〔ショッピングセンター〕（統括）	・メディアを介して世界経済の減速懸念を、耳にする機会が増えてきている。消費税増税の影響も控えており、消費は冷え込んでいくのではないかと感じる（東京都）。
一般レストラン（経営者）	・景気が良くなる要因が見えない。夜に街を歩く人の数が、絶対的に減っている。

	一般レストラン（経営者）	・引き続きヨーロッパの政治経済の不調和と、米国の現政権の分断政策が続く。その影響下では世界経済が順調とは考えにくい。アジアにおいては、中国と韓国政権が相変わらず反日感情をあおっているため、域内の経済が活性化しにくい状況が続く。
	都市型ホテル（スタッフ）	・先の宴会等の動きが鈍く、良くないので、やや悪いと判断している。
	タクシー（団体役員）	・当面上向く要素が見当たらず、1月の状況から判断すると更なる下降が心配される。
	通信会社（管理担当）	・3月までは低下傾向とみている。
	観光名所（職員）	・2～3か月後は一番の閑散期を迎える。初詣客でにぎわう1月と比べるとやや悪くなる（東京都）。
	ゴルフ場（経営者）	・株価が乱高下している。
	ゴルフ場（従業員）	・サラリーマンは、昇給はするものの、年金保険料の上昇などにより手取り額が変わらない傾向にあるようである。大企業は潤っても、個人消費にはなかなか反映されないまま、景気の好循環が生まれない。
	パチンコ店（経営者）	・戦後最長の景気拡大との報道があるが、その伸び率は低く、実感はない。
	競輪場（職員）	・インターネット売上は伸びるが、実売の売上に関しては余り伸びる傾向が見えない。
	その他レジャー施設〔総合〕（経営企画担当）	・春先の予約関連の動きが少々鈍い（東京都）。
	その他サービス〔保険代理店〕（経営者）	・今のままでは、何とか推売しても客の増加や売上の増収が期待できない。
	その他サービス〔電力〕（経営者）	・今冬は暖冬傾向が続くそうなので、電気使用量の増加は望めない（東京都）。
	設計事務所（所長）	・これから先、仕事が増える状況が、今のところなかなか見いだせない。一般的に仕事量が少ない。
	その他住宅〔住宅管理・リフォーム〕（経営者）	・近年、これだけ仕事の相談等がないのは初めてのことであり、このようなことを考えると、先行きが良くなるとは思えない。
	× 一般小売店〔食料雑貨〕（経営者）	・店舗が過剰なため、悪くなる。
	× その他小売〔生鮮魚介卸売〕（営業）	・毎年1～3月までは良くないが、今年はかなり厳しい。廃業する業者のうわさもある（東京都）。
	× 一般レストラン（経営者）	・米中関係による世界経済の悪化、相変わらずの人手不足、仕入原価の高騰、消費税増税や不適切統計問題等、日本の政治への不安感などから、消費者の財布のひもは固くなるばかりである（東京都）。
	× 一般レストラン（経営者）	・2月は歓送迎会もなく、何の集まりも催さない月なので、新年会の後から予約数が激減している（東京都）。
	× タクシー運転手	・働き方改革の影響で夜の残業等がなくなり、夜の客の動きがなくなってきているのが、ますます顕著になる（東京都）。
	× 住宅販売会社（経営者）	・米中通商摩擦や英国のEU離脱問題などの海外経済の減速、消費税増税で景気は下振れリスクが高くなる。
企業動向 関連 (南関東)	その他サービス業〔ソフト開発〕（従業員）	・勤務先の受注量が増えている。決算ボーナスもあり、購買意欲も増える。
	出版・印刷・同関連産業（経営者）	・年度末、年度初めは今より受注量が増えると予測している（東京都）。
	出版・印刷・同関連産業（営業担当）	・来店客で、韓国や中国の客が増えてきている。中国人客はどちらかというと金回りが良く、マンションの経営者になり、大きい表札を注文したりしている。日本人より外国人に自分で経営する人が増えてきているところを見ると、景気は少し上向きだと予測をしている（東京都）。
	プラスチック製品製造業（経営者）	・3か月後は改元があり、特需が期待できるため若干良くなるかもしれない。
	その他製造業〔化粧品〕（営業担当）	・年末年始の繁忙期を終え、少し落ち着いている。期末までは客足がやや落ちると予測している（東京都）。
	建設業（従業員）	・得意先からの見積依頼が増えている。
	輸送業（総務担当）	・繁忙期になり、物量も上向いているので、収益も伸びる。
	通信業（広報担当）	・今期は悪化したあと数か月の緩やかな回復というパターンを繰り返しており、この傾向はしばらく続く（東京都）。
	金融業（役員）	・10月の消費税増税前に駆け込み需要が期待できる。

広告代理店（従業員）	・ラグビーワールドカップ、東京オリンピック、東京パラリンピック関連の業務が増えてきそうである。
広告代理店（営業担当）	・東京オリンピックや改元の周辺事業や広告受注が見込めそうである（東京都）。
その他サービス業〔警備〕（経営者）	・このまま良い流れで推移していく。
出版・印刷・同関連産業（経営者）	・仲間内や資材屋の紹介で話をもらったが、単価が全く合わず断っている。せめて、当社の見積の70～80%くらいだったら受けるかもしれないが、半値以下の話ではなかなか受けることができない。
化学工業（従業員）	・受注の状況により国内向けは大きく変わらず、海外向けも順調に推移しそうである。
金属製品製造業（経営者）	・よく分からないが実感として、客先から発注見通しの修正が多い。しばらく続くのではないか。
金属製品製造業（経営者）	・仕事量があるので価格を安く受注すると、赤字になる。初心者ができ技術者の養成となるような仕事があれば、3～5年で後継者を育てることができる。安い仕事でも決まらずに、頭を痛めている。
その他製造業〔鞆〕（経営者）	・そんなに大きく状況が変わるような話は入っていない。ただ、全体的に業界が沈んでいるので、このまま続くのではないか。
建設業（経営者）	・中小企業対策が具体的に浸透していない。
建設業（経営者）	・消費税増税の関係で案件が増えている。同じくサッシが4月から値上がりするため、受注が増えている。
建設業（経理担当）	・当社の営業圏では景気が良いという話が余り耳に入っていない。都内やその近隣地域と当地域との間に、景気の波を遮るような防波堤ができてきているような感じである。
輸送業（経営者）	・4月以降の取扱量の増加に期待したいところではあるが、前年割れが続く取扱量の減少に歯止めが掛からないため、現状の厳しさは変わらない（東京都）。
輸送業（経営者）	・人手不足により案件を取り切れない（東京都）。
金融業（統括）	・特に大きな状況の変化はみられず、先々大きくプラスにもマイナスにも振れそうにない。それ以上先についてはまだ見えていない。
金融業（従業員）	・建設業など、従来から好調に推移している業種でも、原材料価格の上昇等によりなかなか利益を増やせないとの声が聞かれており、今後、更なる業況改善への足かせになることが懸念される（東京都）。
金融業（支店長）	・日中貿易問題の影響は日本にも大きな影響を及ぼしており、企業は慎重な姿勢を示している。当面の景気は横ばいである。
不動産業（経営者）	・長い賃貸の不況が続いており、1月も終わりだが今のところ見通しがない（東京都）。
不動産業（総務担当）	・商業テナントに比べて、オフィステナントの増床ニーズは多く、この先もしばらくこの傾向は変わらない（東京都）。
税理士	・国内の景気は、米国の対中政策など米中関係で輸出入が大きく変わったりするので、どうなるか分からない。政治は現政権が長期政権となり安定しているが、こちらも米中関係が大きく影響してくるので、まだ分からない（東京都）。
社会保険労務士	・良くなる要因が見当たらない（東京都）。
経営コンサルタント	・良い材料がない。
税理士	・選挙イヤーの今年は手堅い政治と経済の動きになるであろう。与党の大敗はない予想だが、野党の力不足で景気的大幅な上向きは望めず、横ばい状態が続く。
その他サービス業〔情報サービス〕（従業員）	・特に変動する要素はみられないため、当面は好調な状況が継続する。
食料品製造業（経営者）	・値上げがまだ続きそうだし、小豆の価格も上がり続けているので、利益を上げにくくなっている。
化学工業（総務担当）	・中国経済の停滞、米国の行方、英国のEU離脱問題等々、不安材料が多く顕在化するなか、株価の低迷が予測される。平成の次の時代、そして東京オリンピックに向けて、個人消費が堅調であることを願うばかりである。
プラスチック製品製造業（経営者）	・米中貿易摩擦の影響で、工作機械メーカーの対応や、好調だった化粧品容器の受注に陰りが見え始めている。

	一般機械器具製造業（経営者）	・3か月内示の状態だと、例年より少なめになってきている。当月になってみないと分からないが、やや不安が残る。
	電気機械器具製造業（経営者）	・人手不足の問題が尾を引く（東京都）。
	建設業（経営者）	・消費税増税の影響でやや悪くなる。
	通信業（経営者）	・米国と中国の貿易収支の問題である。
	金融業（総務担当）	・秋に消費税増税があることにより、消費が少し抑えられている。家電等のヒット商品も余りなく、家電業は低迷する。ゴールデンウィークの10連休で少し消費が期待できるが、元号が変わることで、どの企業も費用がかかるので、利益に影響する。世界情勢もまだ不安もあり、今後の景気はやや悪くなる（東京都）。
	広告代理店（従業員）	・商材こん包に使用する段ボールの値上げ依頼が来ている。印刷関連の用紙の値上げも予定されている。商材の値上げは厳しいため、収益の減少になると予想される（東京都）。
	経営コンサルタント	・中国の景気後退による大手製造業の輸出減少が、中小製造業に響く（東京都）。
	その他サービス業〔廃棄物処理〕（経営者）	・取引先工場で、いよいよ中国経済減速の影響による稼働率低下が見え始めており、先行きはやや悪くなる。
	その他サービス業〔ビルメンテナンス〕（経営者）	・人手不足が深刻で、利益を削って多少募集単価を上げても、作業員を募集できない状況が続いている（東京都）。
	その他サービス業〔映像制作〕（経営者）	・米中関係や国内の動向を見ても、景気が良くなる要素が見当たらない（東京都）。
	× 出版・印刷・同関連産業（所長）	・年明けからの資材調達、用紙やインクの値上がりが大きく影響してきていることと、用紙がないという状況が響き、案件が流れてしまうことが多々発生しているため、ますます環境が厳しくなる。
	× 精密機械器具製造業（経営者）	・米中の貿易摩擦による減産、原材料価格の高止まり、仕入価格の相次ぐ値上がり、最低賃金の上昇、人材確保による経費増大、消費税増税による駆け込み後の減産などマイナス要因が多すぎるため、経済は悪くなると予想している。
	× その他サービス業〔ソフト開発〕（経営者）	・米中の貿易摩擦と中国の景気減速、英国のEU離脱問題の日本への影響により、悪くなる（東京都）。
雇用 関連 (南関東)	人材派遣会社（営業担当）	・同一労働同一賃金の動きを受けて、交通費支給など待遇改善が進む（東京都）。
	人材派遣会社（営業担当）	・人手不足感は相変わらず深刻だが、年度末に向けて人の動きが出てくると、増員するポジションも期待できる（東京都）。
	人材派遣会社（営業担当）	・年度末に向けて企業も繁忙時期に入るため、派遣労働者数は増加する。ただし、業務繁忙による増員で新規ポジションに派遣を利用するというより、現在いる社員や派遣社員の交代要員での採用が多いため、派遣市場の観点から見れば若干良くなるが、労働市場としては余り変わらない（東京都）。
	人材派遣会社（支店長）	・年度の切替わりに合わせて採用活動を行う企業が多く、1～4月の間は求人数、求職者数共に増えることが予想される。
	職業安定所（職員）	・求職者が減少しており、完全失業者数も102か月連続の減少となっていることから、雇用環境は改善している（東京都）。
	民間職業紹介機関（経営者）	・人手不足は継続しており、採用の広報予算は増える。ダイレクトメールが目につくようになっている（東京都）。
	人材派遣会社（社員）	・複数の中小企業の経営者と話をしたが、中国市場、米国市場共に余り好転が見られない。ここ2～3か月は現状と変わらないという話が多い（東京都）。
	人材派遣会社（社員）	・求人数は引き続き堅調に推移する見込みである。
	人材派遣会社（社員）	・市民レベルに好影響が出るような施策がない（東京都）。
	人材派遣会社（支店長）	・労働者派遣法と労働契約法による期間制限の影響から、派遣労働者を無期雇用化する場合、中小派遣会社の体力では対応できなくなるケースが出るため、結果的にニーズが増えると思われる（東京都）。
	求人情報誌製作会社（広報担当）	・現状は業績が良い企業が多い。少なくとも東京オリンピック開催まではこのままの景気が続くのではないかと（東京都）。

	職業安定所（職員）	・失業して相談に来る人がやや増えてきている。また、企業も人材を確保するために人件費を増やすほど利益を上げていないので、ますます多くの企業で人手不足感は強まっていく。当面2～3か月ではこの状況は変わらない。
	職業安定所（職員）	・管内の新規求人数は前年比で4か月連続して減少しているが、有効求職者数の減少傾向も継続しているため、求人倍率に大きな変化はみられず、人手不足が深刻な状況に変わりはない。
	職業安定所（職員）	・求人数は大幅な減少、求職者数も変わらず減少している。若者の相談がずっと減っており、今後もこの傾向は続く。
	民間職業紹介機関（経営者）	・国内では10月の消費税増税、諸外国の不安定感はあるが、すぐに影響があるとは思えない（東京都）。
	民間職業紹介機関（職員）	・米中の貿易摩擦の影響など不安要素はあるが、今のところは大きな変化はありそうにない（東京都）。
	学校〔大学〕（就職担当）	・変化する要素がない（東京都）。
	人材派遣会社（社員）	・派遣先への直接雇用化や期間満了による終了者が前年10%強と増加傾向にある。一方で、求人数と新規派遣契約の締結数は前年比で横ばいになっており、今後も身の回りの景気はやや悪化していく見込みである（東京都）。
	人材派遣会社（社員）	・採用コストが大きく変化するため、年度切替え時の企業予算の確保が終われば、再び採用意欲が向上すると思われるが、採用の対象となる人材のレベルは一変するとみている（東京都）。
	人材派遣会社（営業担当）	・明確な情報はないものの、長期化している現在の好景気にそろそろ陰りが出てくるのではといった話が商談中に出るようになってきている（東京都）。
	求人情報誌製作会社（所長）	・現状でもまだ先々に関しての明るい兆しが見えないので、緩やかに悪い方向に下降していく。
	民間職業紹介機関（経営者）	・国際政治問題や消費税増税が気になり、頭打ち状態である。いつでも引けるよう対応している（東京都）。
	x	-